

(別紙3)

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	障がい福祉サービス事業所 わたぼうし			
○保護者評価実施期間	2025年 3月 15日		～	2025年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数)	18名
○従業者評価実施期間	2025年 3月 15日		～	2025年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 30日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の強みとしては、長閑な空間に大きな公園と開放感のある立地であることと、また保育士や児童指導員（教員免許所有者）の有資格者が多く在籍しております。利用者様にとって、より専門性の高い療育を行えるよう努めています。	個々の能力や特性を見極め、個々にあった支援ステップを随時、検討していくことで成功体験を増やし、自信に繋がっていきます。また同時に日常動作への般化も視野にいれた療育を意識しております。	ことば遊びのアイテムや知育ツールをより一層充実させ、コミュニケーション能力を育んでいけるよう取り組んでいきます。
		落ち着いてお過ごしいただけるよう、気持ちの切り替えが上手くできず、不穏が続く場合には別室での個別対応を行うなどの工夫をしています。	四季や年中行事の習わしなどを積極的に行い、季節に対しての生活文化を感じていただけるよう取り組んでいきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者さまとの面談の機会が少ないと感じています。	市街地より離れており、就労されておられる保護者さまが多いため日中の活動機会が取りにくいものと認識しています。	アセスメント時に合わせて保護者会の期間を設けるなど、面談の機会を設けていきます。